

オペラは400年以上の歴史を持つ総合芸術。あらゆる分野のスタッフの叡智と芸術性が結集し、お金と時間をかけて制作されます。歌舞伎とよく比較されるオペラがどのように制作されるのか、その舞台裏をご紹介します。

講師 **高島 勲**

演出家・プロデューサー
 元・日生劇場芸術参与



Takashima Isao

1952年長野県生まれ。駒澤大学経済学部卒。1979年渡独。ミュンヘン大学を経てウィーン大学演劇学科卒業(修士終了)。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ミュンヘン州立歌劇場、ケルン市立歌劇場などで照明スタッフ、舞台監督、演出助手などとして研鑽を積む。鈴木敬介、江守徹、市川猿之助、蛸川幸雄、H・ミュラー、M・ハンベ、A・エヴァーディング、浅利慶太諸氏のアシスタントを務める。五島記念文化財団第二回オペラ新人賞、ローム音楽財団の助成を得てヨーロッパ各地で研修。94年、日生劇場『魔弾の射手』によりオペラ演出デビュー。NHK交響楽団「火刑台上のジャンヌ・ダルク」、『囚われ人/レクイエム』、読売日本交響楽団創立40周年記念『バルジファル』。愛知県芸術劇場開場10周年記念『仮面舞踏会』、東京シティ・フィル『ニーベルングの指環』、彩の国さいたま芸術劇場『トゥーランドット』『イル・トラヴァトーレ』、日生劇場『後宮よりの逃走』、『利口な女狐の物語』(佐川吉男音楽賞受賞)、音楽ドラマ『チャイコフスキー』、『魔笛』『オルフェオとエウリディーチェ』等を演出、フランス、スペイン、チリなどでも演出している。新国立劇場海外調査員、専門嘱託、彩の国さいたま芸術劇場参与を経て、日生劇場評議員、2001年以降同芸術参与。多くのオペラやバレエ作品の制作を手掛け、2017年11月末、日生劇場を退職。オペラやミュージカルなどの国際的コーディネーター多数。東京芸術大学、フェリス学院大学非常勤講師。

島根県舞台技術研修会は、これまで、劇場の舞台技術者向けに開催してきました。今年度は、「オペラセミナー」として一般の方も対象にオペラについて学ぶ機会としました。多くの方のご来場をお待ちしています。

オペラを観る、楽しむ、制作するための

「オペラセミナー」

Seminar
1

「オペラ制作の基礎知識」

2018年 **4/17(火)** 午後6時~8時30分(予定)
 *開場:午後5時

◎島根県民会館 中ホール <入場料>500円 *当日受付にてお支払いください。*事前の申込みは不要です。

講師 **高島 勲** (演出家・プロデューサー、元・日生劇場芸術参与)

友情出演 **朝枝 信彦** (松江クラシックス音楽祭音楽監督、元マンハイム国立劇場管弦楽団コンサートマスター)

セミナー1回目は、「オペラ」の入門編。接してみると意外に楽しいオペラ。「ミュージカル」などの舞台芸術との違いを、その歴史をひも解きながら検証します。生のオーケストラと生の歌声により上演されるオペラの制作過程をご紹介します。

***専門知識はいりません。オペラに関心のある方ならどなたでも参加OK!**

【主催】(公財)しまね文化振興財団(島根県民会館)・松江クラシックス音楽祭実行委員会

*お問い合わせ: 島根県民会館 TEL.0852-22-5510 島根県松江市殿町158

Seminar
2

「オペラの演出」
 ◎2018年11月開催予定

Seminar
3

「オペラと明り」
 ◎2019年2~3月開催予定

